

広報たかつき

知る 広がる 好きになる

TAKATSUKI

Days

令和4年

8

No.1413

特集

いきものと
暮らす。

／ CLOSE UP ／

新しい芸術文化の幕開け

連載

キラリスポーツ

「ゲートボール」

たかつき歴史アラカルト

「古曽部の『弁天功德水』伝承」

週末どこ行く？ 何食べる？

おでかけDAYS

「安満エリア」

山や川、自然に恵まれた高槻市は、
 多くのいきものと触れあうことができる絶好の環境。
 生命の不思議や尊さに出会うミュージアムもあり、
 ペットと生活をする人も多い。
 いきものと程よく仲よく暮らすライフスタイルのススメです。

1年中、芥川の中流から下流にかけて見ることができるカルガモ。写真は、芥川桜堤公園付近で撮影。

1 芥川いきもの散歩。

高槻市の中心を流れる芥川に生息する野鳥や魚、昆虫など多彩ないきものを、探して歩いてみてはいかが？



案内してくれた人
 あくあびあ芥川 学芸員
 秀瀬みのりさん

平成21年から「あくあびあ芥川」の飼育員として働きはじめ、平成22年には学芸員に。いきもの同士のつながりや関係性について学ぶ保全生態学を専門にしています。

2 いきものと親しめるミュージアム。

自然の中でいきものに触れたあとは、生命のことについてもっと知りたくなるもの。高槻市には、いきものを知り、親しむことができる博物館と研究館があります。

高槻のいきものが大集合！

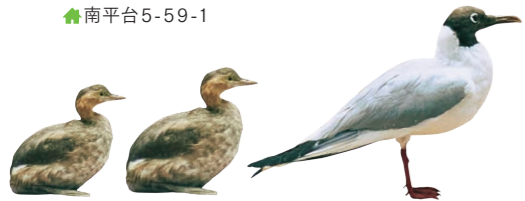
多くのいきものと触れ合うことができる芥川のほとりには、「高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川」があります。芥川に生息する魚が泳ぐミニ水族館や、鳥や動物の剥製、昆虫の標本なども豊富に展示し、高槻の自然の豊かさを実感。子どもたちのためのワークショップや教室も随時開催され、高槻のいきものを楽しみながら学ぶことができます。



原、榎田地区など、高槻市の山間部に生息するシカやキツネの剥製を展示。

あくあびあ芥川

北摂地域唯一の自然博物館。常設展示のほか、「芥川トコロジスト調査隊」、「ハグロトンボしらべ隊」など、学芸員主導の有志による部活動も活発。また、年に5〜6回、工夫をこらした企画展を開催しています。8月は企画展「外来生物」を開催中。
 📍南平台5-59-1



3つの大水槽では、写真のオイカワをはじめ芥川の上流、中流、下流にいる魚たちが泳ぎます。鳥の剥製の展示数は関西一との呼び声も高く、「あくあびあ芥川」周辺で観察した野鳥がなんと種類か、確認しに来館する人もいます。



生命の誕生の不思議に出会う。

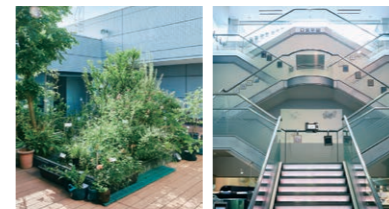
アリヤクモなどの小さいいきものから人間まで… 38億年前の生命の誕生から、それぞれがどのように生きるようになったかを、映像や展示で教えてくれるのが「JT生命誌研究館」。いま生きていることの神秘と尊さを、改めて実感できる場所です。



童話『エルマーのぼうけん』のシーンのジオラマと生命誌を結びつけた展示も。

JT生命誌研究館

来年30周年を迎える研究館。1階と2階はゲノムや細胞、「生きもの上陸大作戦」などの展示。3階実験室ではチョウなど身近ないきものを研究しています。季刊『生命誌』も発行。📍紫町1-1



38億年のいきものの歴史をたどる生命誌の階段を上った先には、チョウの研究と憩いの食草園。



中村桂子さんの本

『老いを愛づる 生命誌からのメッセージ』
 いきものらしく、自然体で暮らすためのヒントを集めた中村さんの年をとったら見えてきた生き方。



『生きている不思議を見つめて』
 38億年の歴史を持ついきものの生態や進化を学び、「私たちは生きている」原点に立ち返ろうと提案。

INTERVIEW

JT生命誌研究館 名誉館長
 中村桂子さん

JT生命誌研究館を立ち上げ、令和2年まで館長を務めていた中村さん。「高槻市は自然がすぐ近くにあって、いろいろないきものと接することができますが、この館では、他のいきものたちとわれわれ人間が、同じ仲間だということが科学によってわかります。研究館にいらした大勢の方が、『ここへ来ると豊かなホッとした気持ちになる』と言ってくださいます。ものや情報を大量につくって捨てている今のせかせかした社会で、いきものとして、ゆったり暮らしたいなと心の中で思っている方が多いのではないのでしょうか。」

「人間も小さいいきものも、みんな同じ仲間なんです。」

たかつきぐらし vol.1: 蚊が苦手な息子



3 ペットと仲よく暮らすために。

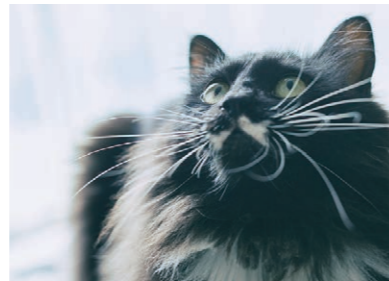
人の暮らしに、元気や潤いを与えてくれる犬や猫、そのほかのペットたち。彼ら、彼女らの命を大切に育てるために、いい関係を築きたい。



ペットと生活する楽しみ、喜びを知る。

竹原家の愛猫・小梅ちゃんは、生まれたてで保護されている時に出会い、「本当に小さくて、へその緒もついてたんですよ」と菜央さん。小梅と暮らすようになってから、子どもたちが自分より小さいきものを大切に、猫の思わぬ仕草や行動に絶えず笑いが起こるように。最後まで愛情を持って育てたいというのが竹原家の願いです。

(写真左から) 竹原祐樹さん、心愛さん、玲音さん、菜央さん。サッカーをやっている玲音さんが試合で負けて帰ってきた時も、小梅を見ると癒されます。



「ひまわり幼稚園高槻校」に通うミニチュアピンシャーのシーザリオちゃん。

ワンちゃんのしつけに、こんな幼稚園も。



愛犬が犬社会でより生きやすいように、行儀を教え、しつけをしてくれる安満遺跡公園内にある「わんこの学校 ひまわり幼稚園高槻校」。「安心して預けられる」をモットーに、授業では各生徒に担任、副担任がつき、責任を持って教育。ホテルでのお泊りもできます。

(写真右上) 通園は、歯ブラシ、連絡帳などをリュックに入れて。



現在約200匹の生徒が通う「わんこの学校 ひまわり幼稚園高槻校」。広々とした公園内にあり、犬がくつろぐ環境としては申し分なし。夏にはプール開きもします。📍八丁畷町12-15

保健所でも犬猫の相談を受け付けます。



保健衛生課 獣医師 岡田法能さん

獣医師として18年のキャリアを持つ岡田さん。「保健衛生課では、狂犬病予防法の登録など犬の手続き、犬猫の適切な飼い方の相談対応などを行なっています。迷子の捜索は警察署とも連携し情報を共有しています。お困りごとがあればご相談ください」。

問い合わせ先

犬猫の相談／ 犬の手続きなど	保健衛生課 ☎ 072-661-9331
犬猫の譲渡希望	大阪府動物愛護管理センター ☎ 072-958-8212
行方不明 (迷子や失踪)	保健衛生課 ☎ 072-661-9331 高槻警察署 ☎ 072-672-1234
死体の引き取りや 火葬	清掃業務課 ☎ 072-669-1153



インスタグラム高槻市公式アカウントで「たかつきDAYS」8月号特集のこぼれ話を配信中!